

九州・沖縄ニュースレターは会員生協の特徴的な活動を紹介するニュースです。会員生協の皆様からの情報提供も宜しくお願ひします。

2012年度

## 長崎県生協大会を開催

しました。

11月6日(火)長崎県教育文化会館において、2012年度長崎県生協大会を開催し、会員生協の組合員、役職員など130名が集いました。

今年で第42回の開催となりました。

ララコープ副会長・井手こずえさんの司会で始まり、主催者を代表して、本田県連会長理事が、「今大会は全国的に取り組まれている生協強化月間の最中に開催されています。今年には国際協同組合同年とも重なり、あらためて協同組合の役割について認識を深め、協同の輪を広げていきたい」とあいさつしました。

続いて来賓の皆さんから生協への期待を込めたご祝辞をいただきました。(長崎県・食品安全消費生活課長の諸岡俊幸様、JA長崎県中央会、九州労働金庫・長崎県本部、長崎県労働者福祉協議会の皆様)

そのあと、永年勤続者表彰があり、勤続30年を迎えられた6名の皆様が表彰され、賞状と記念品が贈られました。(ララコープ・松尾義一、中村一則、太田信介、長崎県学校生協・清水清光、グリーンコープ・池山泰正、村田修の各氏)

代表して、中村一則さんから勤続30年間の思い出とお礼のご挨拶をいただきました。

最後は、「国家の存亡」等の著書で近年、注目を集めているノンフィクション作家の関岡英之先生から「TPPが及ぼす国民生活への影響」と題してのご講演をいただきました。

「いま日本で何が起きているのか? 郵政民営化などの構造改革は正しい処方箋だったのか? TPPと混合診療問題、アメリカ保険業界の戦略とねらい、韓国FTA問題、ISDS条項の危険性」など、客観的事実にもとづくお話はたいへん参考になり、良かったとのご感想をいただきました。

農業や医療の問題よりは、アメリカの狙いは、むしろ保険や投資にこそ、その狙いがあることが実感できました。この話を聞いての皆さんの反応は、TPP絶対反対一色でした。これから、いよいよ総選挙。国民の暮らしを守る人にぜひ投票したいと感想を寄せてくれました。大変盛り上がった生協大会となりました。

(以上、長崎県生協連から情報を提供していただきました。)

